

## 平成24年度『山形県青少年健全育成県民大会』寒河江大会

期 日：平成24年11月11日(日) 12:40～

会 場：寒河江市文化センター

参加者：来賓等、青少年育成関係者 650名

☆アトラクション 寒河江市立陵東・陵南・陵西3中学校  
「吹奏楽部合同演奏」

☆山形県青少年育成県民会議表彰 団体1、個人16名

☆「青少年 夢と創造へのアイデアコンテスト」発表

- ① 県立村山農業高校バイオテクノロジー部（村山市）
- ② 県立置賜農業高校「食・農・交流グループ」（川西町）
- ③ 虹色クローバー24「つるおかわいプロジェクト」（鶴岡市）

☆講演 「伝えておきたい、本当は大切なこと」

- 講 師 医学博士 鈴木 一作 氏（寒河江市在住）
- 本当は大切なこととは、①心の安定（命の源、山形県の自然風土） ②心のつながり（共感する力、実体験） ③心の強さ・美しさ（4S2Y：正義・信頼・誠実・責任、勇気・優しさ）である。
  - 講師が小学校の時の恩師に、「偉い人でなく、立派な人

になれ」と言われ、その教を今も忘れず、心の 支えにしている。

○ 子どもが大好きで、本の読み聞かせを自分の子どもにもしたし、現在、ボランティアで学校を訪問し読み聞かせを行っている。

○ 読書、特に伝記を読むことが、生きる手本となり、「あんなふうになりたい」につながる。



## 推進員の宝もの紹介

### 最上 高校生よ!ありがとう!

最上町 青少年育成推進員 二戸 孝芳 氏

私は、これまで様々な場面で、色々な子どもたちと関わってきましたが、今の高校生に驚きと期待を持つようになりました。ちょっと前だと、問題行動の引き金になることが多かったけれど、考えを新たにできる出来事がありました。

それは、高校生と語りあった青少年育成懇談会の中身の濃い話し合いに「びっくり」し、今の高校生はしっかりした考えや捉え方ができて、とても頼もしく思いながら帰ってきたことを覚えています。

また、忘れることができない東日本大震災で、多くの尊い命や貴重な財産が失われる中であって、高校生の果たした役割は、とても立派で見事な行動でした。ボランティア活動の見本であり、あの頑張る姿や前向きな行動を見て、周りの人々はどれだけ力強く思ったことでしょう。いつ抜け出せるかわからないどん底の暗闇の中に、一筋の灯りや希望が見えたに違いありません。

そして、それは新北最上校の生徒達にも熱意が伝わり、何度となく被災地復興の手伝いに出向き、自分達で提案し、少しでも被災者の心が和むようにと、花を植え大変感謝されました。今の高校生の姿を見て、中学生や小学生の子どもたちも、自分の役割をしっかり見つめ、全ての子どもたち、若者たちが生き生きと、幸せに生きていく力を引き出せるような取り組みをみんなでやっていこうと思っています。

### 舟形 傘がなくなった……。

舟形町 青少年育成推進員 沼澤 啓 氏

師走の初め、300名ほどの大人の集會に、雨のため傘を持参して出向いた。帰り際、置いた場所に傘がない。さらに、知人の傘もない。信じられなかった。「誰だよ? なんてだろう?」思いのある宝物の傘ではないが、怒りがこみ上げてきた。傘は盗んでも良い代物であろうか? 盗んで良いものは、何も無いはずだ。これじゃ、子どもたちに、大人は何も指導できないじゃないか。

子どもの頃の私は、家庭や地域や学校で、年長者を尊敬していた。当時に受けた教えや経験が、私だけの宝物であり、今の自分の言動の土台を築いてくれたと思っている。「大人が変われば、子どもも変わる」は、山形県青少年育成県民会議のスローガンである。スローガンに掲げるほど、大人は変わる必要があるだろうかと私は感じていたが、疑念を一掃する出来事であった。

人生いろいろである。私達は様々な経験をして成長している。理想と現実、信頼と失望、挑戦による成功と失敗、困難から逃げてしまいたい心ともっともっとガンバレと言う自分もいる。時に、「何事にも諦めたら、そこで終了」と友は言う。子どもたちには、多くの人と出会い、たくさんの挑戦と経験をして成長し、楽（らく）ではなく、たのしく、たくましく生きて欲しいと思う。大人の私は、子どもたちの羅針盤になれるように、もっともっと精進、精進。

## 編集後記

最上広域青少年指導センターの指導委員と一緒に、時々、新庄駅付近や市内のゲームセンター等を巡回させていただいています。早朝の新庄駅改札前では、列車に乗り込む高校生、また、列車から降りる高校生が多数通り過ぎます。

「おはようございます。いってらっしゃい。」と声をか

けると、挨拶をしっかり返す子、声には出さないが笑顔で通る子、目も合わさず黙って通る子、さまざまな場面に出会います。しかし、年々、高校生の服装や髪型等がしっかり整えられてきて、さらに、挨拶を返す子が増えてきており、大変うれしい気分になります。